第3章
再生

再生の前に

カメラで再生できるデータやテレビを利用した再生方法について説明します。

カメラで再生できるデータについて

カメラで再生できるファイルは、本機で記録したデータです。

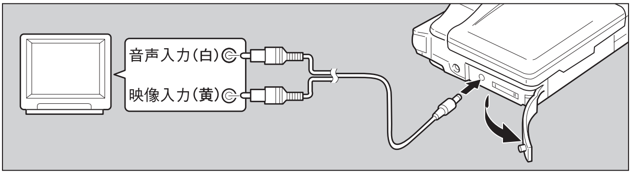
その他、デジタルカメラ DC-3Z/DC-4 シリーズ、RDC-5000 シリーズ（リコー製）で記録した静止画ファイル、DC-4 シリーズで記録した音声ファイルも再生できます。

●再生できないデータ

再生できないデータは、「UNMATCHED FILE」のメッセージが表示されます。

テレビに接続する

同梱の AV ケーブルをカメラとテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。



1 カメラ本体とテレビの電源が切れていることを確認する

2 カメラの端子カバーを開き、AV 出力端子に AV ケーブルを接続する

3 AV ケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子と音声入力端子にしっかりと接続する

長時間お使いになるときは

AC アダプター（別売り）を使って、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。▶▶▶P.24「AC アダプターを接続する」

* AC アダプターは、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

重要

・接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

補足

・海外旅行などで PAL 方式のテレビで再生することもできます。▶▶▶P.109「ビデオ方式を変更する」

・テレビに接続すると、カメラの液晶モニター表示の状態で、そのままテレビモニターに映ります。

・テレビモニターによっては、表示される範囲が異なることがあります。

ファイルの再生

撮影したファイルの再生方法について説明します。

静止画 / 文字 / 連写ファイルを再生する

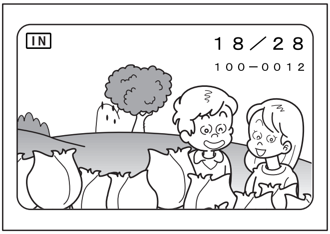
（静止画）、（文字）、（連写）で記録したファイルや、音声付きの静止画や文字を再生します。

1 **モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD / IN ボタンで再生元を選ぶ**

最後に記録したファイルが再生されます。

・P.30「情報表示の見かた」

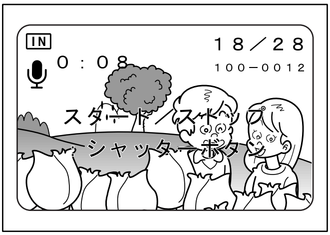
2 **▲ボタン・▼ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ**



▲ボタンを押すと次のファイルが表示され、▼ボタンを押すと前のファイルに戻ります。

ボタンを押し続けると早く進みます。

●音声付き静止画 / 文字のとき

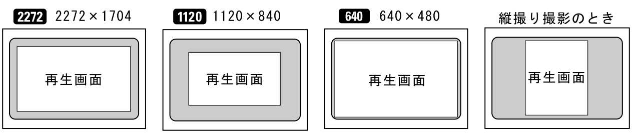


音声を再生するときは、シャッターボタンを押します。

自動で音声ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンまたは▼ボタンを押すと再生を中止できます。

●再生画面について

次の画像サイズで撮影すると、液晶モニターやテレビモニターでの再生画面は以下のようになります。



補足

・音声再生中、◀ボタン・▶ボタンを押すと音量の調節ができます。P.85「音声ファイルを再生する」

3 再生

補足

・スマートメディアの容量によっては、電源の投入やモードダイヤルを変更してから、ファイルを再生するまでに時間がかかることがあります。
・（連写）で撮影したファイルも、それぞれ１ファイルとして記録されるため、通常のファイルと同じように再生できます。

コラム

再生中のファイルに音声を追加する（アフレコ機能）

（静止画）、（文字）、（連写）で記録したファイルに音声を追加できます。

1. 音声を追加したいファイルを表示する

2. ENTER ボタンを押す

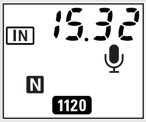
液晶モニターや液晶パネルに録音可能な時間が表示されます。すでに、音声が録音されている場合は、上書き確認画面が表示されます。

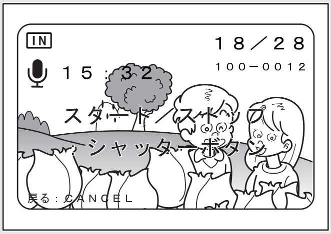
3. シャッターボタンを押す

録音が開始されます。

録音中はが点滅し、液晶パネルに録音時間が表示されます。

再度、シャッターボタンを押すと、録音を中止します。





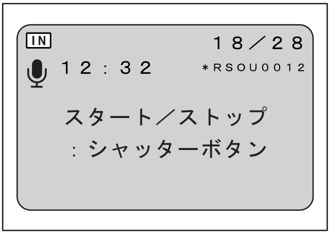
＊ 音声付きの静止画の場合は、すでに記録されている音声に上書きします。
＊ 音声付き静止画の場合でも、アフレコ設定する場合は、記録先メモリーの残容量分録音できます。

音声ファイルを再生する

🎙（音声）で記録したファイルを再生します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選ぶ

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して音声ファイルを選び、シャッターボタンを押す



音声が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。

自動で音声ファイルの再生は終了します。また、▼ボタンを押すと再生を中止できます。

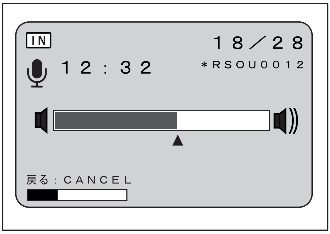
●再生を中断するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が中断され、再度押すと再開されます。

中断中は、ズームレバーを押し続けると早送り（[♠]側）や巻き戻し（[♠]側）ができます。

●音量を調節するとき

再生中、◀ボタン・▶ボタンを押すと音量調節インジケーターが表示されます。◀ボタン・▶ボタンを押して、音量を調節します。



重要

・スピーカーはカメラの側面にあります。カメラの向きを調整して再生してください。

補足

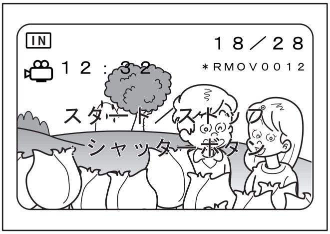
・テレビなどに接続した場合、接続した機器で音量調節を行ってください。
・録音 / 録音可能時間が 100 分を越える場合、液晶モニターや液晶パネルには秒の 1 桁目は表示されません。

動画ファイルを再生する

🎥（動画）で記録したファイルを再生します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選ぶ

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して動画ファイルを選び、シャッターボタンを押す



動画が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。

自動で動画ファイルの再生は終了します。また、▼ボタンを押すと再生を中止できます。

●再生を中断、再開するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が一時中断され、再度押すと再開されます。

●コマ送り / 戻し、スロー再生 / 逆スロー再生する

再生の中断中、ズームレバーを［T］側に押すと 1 コマ進み、［W］側に押すと 1 コマ戻ります。また、ズームレバーを［T］側に押し続けるとスロー再生、［W］側に押し続けると逆スロー再生ができます。

補足

・動画再生中に◀ボタン・▶ボタンを押すと音量の調節ができます。

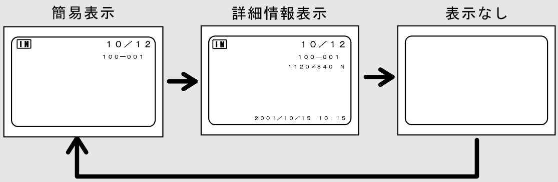
▶▶▶ P.85「音声ファイルを再生する」

コラム

画面表示について（再生モード）

DISPLAY ボタンを押すごとに、記録した日付や時刻、画質モードなどの情報表示を切り替えることができます。

●静止画 / 文字 / 連写ファイルのとき



＊ 音声ファイルや動画ファイルの場合、初期状態や情報表示時に🎤、🎥、経過時間、インジケーターが表示されます。

いろいろな再生機能

ここでは、いろいろな再生機能について説明します。

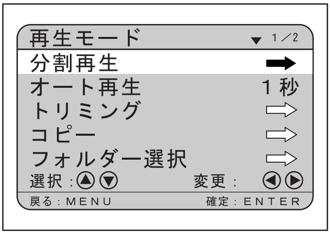
画面を分割表示する（分割再生）

画面を 6 分割にし、複数のファイルを一度に表示します。見たいファイルをすばやく検索できます。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［分割再生］を選び、ENTER ボタンを押す

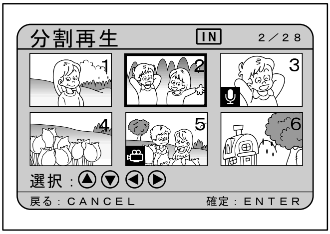
6 画面表示に変わります。



3 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ

コマ番号の表示位置を固定に、6 ファイルずつ表示されます。画面上の 🎥 は動画ファイル、🎙は音声付き静止画ファイルです。

太枠で囲まれているファイルは、選択ファイルを表します。



4 ENTER ボタンを押す

通常の画面表示に戻り、選択ファイルが 1 画面で表示されます。

補足

・選択ファイルが上段のとき、▲ボタンを押すと前の 6 ファイル、下段のとき▼ボタンを押すと次の 6 ファイルを表示します。

3
再生

補足
・再生できないファイルは黒色の画面表示になります。水色の画面表示のときは、下表のファイルを表します。

音声ファイル	水色の画面に🎤を表示
文字ファイル	水色の画面に📄を表示
音声付き文字ファイル	水色の画面に📄を表示

拡大して表示する（ズーム再生）

補足
・ズーム再生できるファイルは、本機で撮影した静止画ファイル、文字ファイル、音声付き静止画 / 文字ファイルです。
・縦に撮影した画像は、ズーム再生すると横に再生されます。

再生しているファイルを縦横に拡大して表示します。画像サイズによって、次の倍率で表示できます。

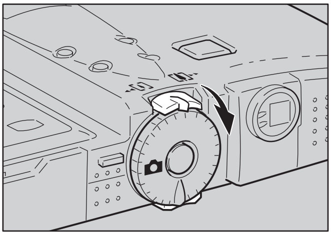
- 2272 ：1.4 倍、1.8 倍、3.6 倍
- 1120 ：1.8 倍
- 640 ：2 倍

1 モードダイヤルを［▶］に合わせる

2 ▲ボタン・▼ボタンを押してズーム再生するファイルを選ぶ

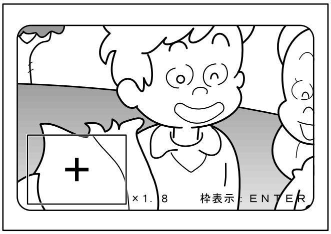
3 ズームレバーを［♠］側に押す

再生画像が拡大表示され、枠が表示されます。



4 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してファイルを確認する

ENTER ボタンを押すと枠表示が消えます。



●倍率を変えるとき

画像サイズが 2272 のときは、ズームレバーを［♠］側に押すごとに倍率を変更できます。倍率を戻すときは、［♣］側に押します。

5 ファイルの確認後、ズームレバーを[▲]側に押す

ズーム再生が終了します。

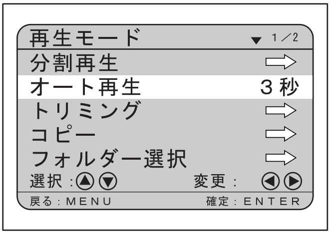
自動で再生する（オート再生）

内蔵メモリーまたはスマートメディア内のすべてのファイルを、自動再生します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［オート再生］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して再生時間（1 秒・3 秒・5 秒・10 秒・30 秒・60　秒）を選び、ENTER ボタンを押す



ENTERボタンを押すと、指定した時間でオート再生が開始されます。中止するまでは再生を続けます。

●オート再生を中止するとき

オート再生中、シャッターボタンやズームレバーなど、いずれかのボタンを押すとオート再生を中止します。

補足

- 再生時間には、ファイルを呼び出している時間は含まれません。
- 音声付き静止画 / 文字ファイル、動画ファイル、音声ファイルは、設定した再生時間にかかわらず、記録した録音時間や 録画時間で再生されます。

トリミングする（トリミング）

再生中のファイルの一部を切り取って、別ファイルとして保存します。

補足

・トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。記録先のメモリーの容量や、スマートメディアのライトプロテクトなどを確認してから行ってください。

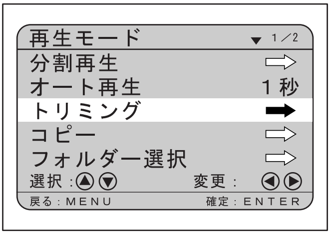
補足

・次の場合、トリミングはできません。
 （文字）、（音声）、（動画）で記録したファイル
 画質モードが、2272 NC、1120 NC、640 F N E のファイル

1 モードダイヤルを［▶］に合わせる

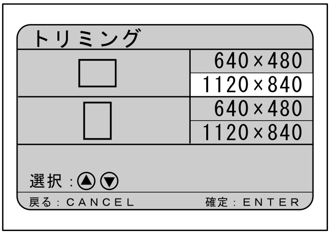
2 ▲ボタン・▼ボタンを押してトリミングするファイルを選び、MENU ボタンを押す

3 ▲ボタン・▼ボタンを押して［トリミング］を選び、ENTER ボタンを押す

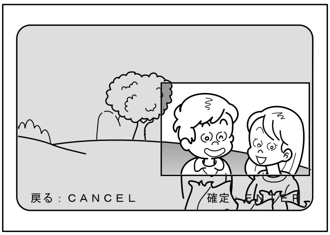


4 ▲ボタン・▼ボタンを押してトリミングサイズを選び、ENTER ボタンを押す

ブルーバックで表示された再生画面の中にトリミング枠が表示されます。



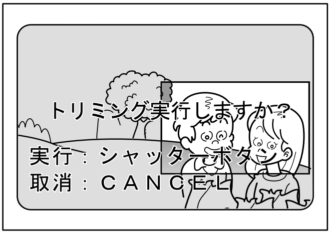
5 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してトリミング枠を移動させ、ENTER ボタンを押す



6 シャッターボタンを押す

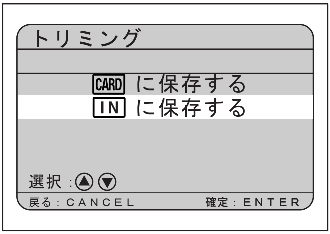
画像確認時間で設定された時間、トリミングした画面が表示されます。

▶▶▶ ・P.106「画像確認時間を変更する」



7 ▲ボタン・▼ボタンを押して記録先を選び、ENTERボタンを押す

トリミングした画像が記録されます。



ファイルをコピーする（コピー）

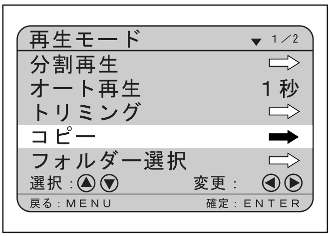
内蔵メモリー内のファイルをスマートメディアへ、またはスマートメディア内のファイルを内蔵メモリーへコピーします。

重要

- ・プロテクトを設定したファイルをコピーしても、コピー先のファイルにはプロテクトは設定されていません。
- ・コピーできるファイルは、本機で撮影したファイルです。
- ・コピー中、コピー先の容量が不足しているときはメッセージが表示されます。シャッターボタンを押すと残容量分のファイルがコピーされ、CANCELボタンを押すと操作を取り消します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押す

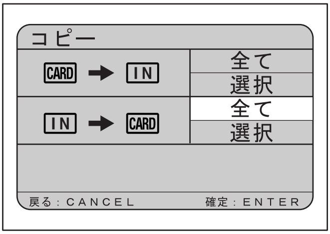
2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［コピー］を選び、ENTERボタンを押す



3 再生

3

◎ボタン・◎ボタンを押してコピー方法を選び、ENTER ボタンを押す



コピー方法によって操作が異なります。

・全てのファイルをコピーする ▶▶▶P.92

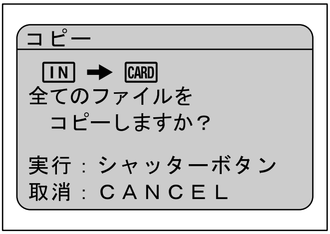
・ファイルを選択してコピーする ▶▶▶P.92

■全てのファイルをコピーする

1

シャッターボタンを押す

すべてのファイルがコピーされ、コピーメニューに戻ります。

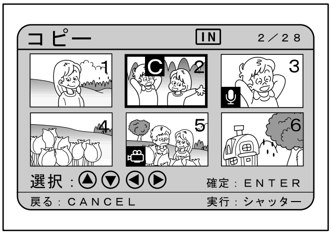


■ファイルを選択してコピーする

1

◎ボタン・◎ボタン・◎ボタン・◎ボタンを押してコピーするファイルを選び、ENTER ボタンを押す

選択したファイルにCマークが表示されます。手順 *1* を繰り返すと、複数ファイルを選択できます。



補足

・選択の取り消しは、もう一度ENTERボタンを押してCマークを消します。

2

シャッターボタンを押す

選択したファイルがコピーされ、コピーメニューに戻ります。

他社カメラで撮影したファイルを再生する（フォルダー選択）

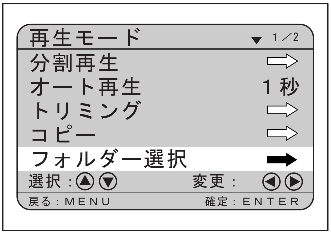
他社カメラで撮影したファイルを再生します。他社カメラのファイルフォーマットがDCF* に対応したファイルの場合、一部を除き再生できます。

* DCF は、社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の略称です。

1 スマートメディアをセットし、モードダイヤルを［▶］に合わせてMENUボタンを押す

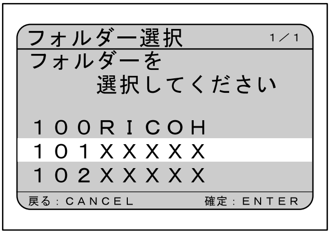
・P.26「スマートメディアをセットする」

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［フォルダー選択］を選び、ENTERボタンを押す



3 ▲ボタン・▼ボタンを押してフォルダーを選び、ENTERボタンを押す

フォルダー内のファイルが表示されます。▲ボタン・▼ボタンでファイルを再生します。



・P.83「ファイルの再生」

回転して表示する（回転）

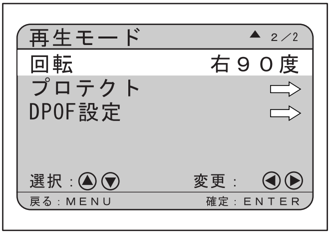
記録したファイルを右90度、左90度、180度回転して表示します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押す

3

再生

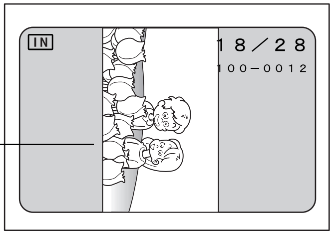
2
▲ボタン・▼ボタンを押して［回転］を選ぶ



3
◀ボタン・▶ボタンを押して角度（右 90 度・左 90 度・180 度）を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと、指定した角度で表示されます。

右 90 度に回転したとき



補足

・回転できるファイルは、本機で撮影した静止画ファイル、文字ファイル、音声付き静止画 / 文字ファイルなどの本機で再生できるファイルです。
・電源をオフにしても設定した角度は記憶されています。次回電源をオンにすると設定した角度で再生されます。

プロテクトを設定する（プロテクト）

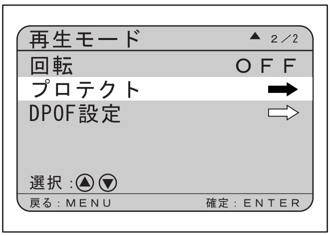
大切なファイルを誤って消去してしまわないよう、プロテクト（誤消去防止）を設定できます。

重要

・スマートメディアまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされているファイルも消去されます。

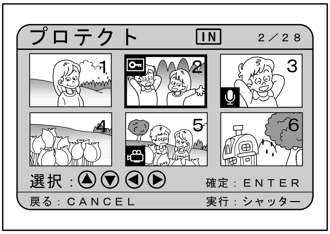
1
モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押す

2
▲ボタン・▼ボタンを押して［プロテクト］を選び、ENTER ボタンを押す



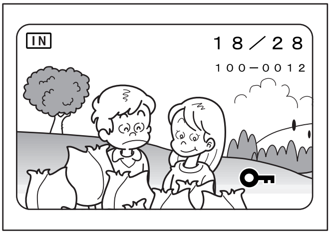
3 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してプロテクトするファイルを選び、ENTER ボタンを押す

選択したファイルにマークが表示されます。手順 ***3*** を繰り返すと、続けてプロテクトを設定できます。



4 シャッターボタンを押す

プロテクトが設定されます。



●プロテクトを解除するとき

プロテクトメニュー（手順 ***3*** で、プロテクトが設定されたファイルを選び、ENTER ボタンを押してマークを消します。

補足

・選択の取り消しは、もう一度ENTERボタンを押してマークを消します。

プリントサービスの設定をする（DPOF の設定）

スマートメディア内のファイルをデジタルプリントサービスでプリントする際、プリント枚数やインデックス枚数の設定を行います。これを DPOF 設定と呼びます。

設定後、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、指定した情報通りのプリントサービスが受けられます。

* DPOF とは、Digital Print Order Format の略です。

補足

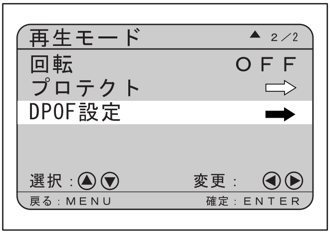
・プリントサービスの設定は、RICOH フォルダー内のファイルのみ設定できます。
・プリントサービスの設定を行うには、スマートメディアにファイル 1 〜 2 枚分の空き容量を残してください。
・プリントサービス設定後は、記録や消去などの設定を一切行わないでください。行った場合は再度設定し直してください。

1

モードダイヤルを［▶］に合わせてCARD/INボタンでCARDを選び、MENUボタンを押す

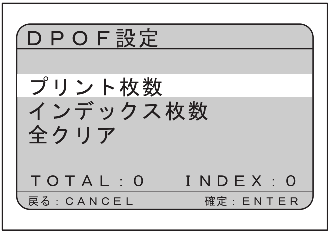
2

▲ボタン・▼ボタンを押して[DPOF設定]を選び、ENTERボタンを押す



3

▲ボタン・▼ボタンを押して設定する項目を選び、ENTERボタンを押す

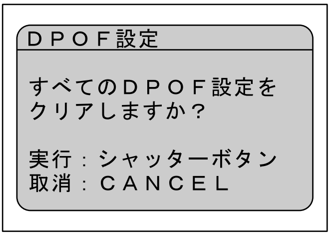


設定する項目によって操作が異なります。

- プリント枚数を設定する ▶▶▶P.97
- インデックス枚数を設定する ▶▶▶P.98
- DPOF設定を解除する ▶▶▶P.98

●すでにDPOF設定を行っているとき

すでにDPOF設定を行っている場合は、右の画面が表示されます。シャッターボタンを押してください。DPOF設定をクリアしないと、プリントサービスの設定は行えません。

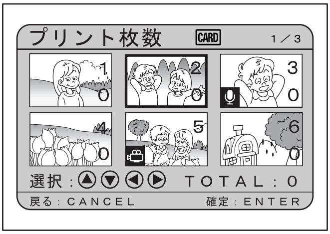


■プリント枚数を設定する

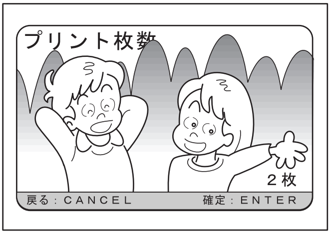
1 DPOF設定メニューで［プリント枚数］を選び、ENTERボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して枚数を設定するファイルを選び、ENTERボタンを押す

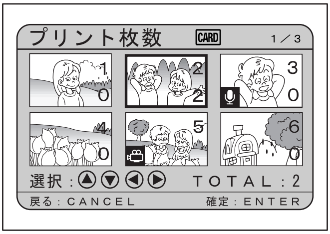
選択したファイルが1画面で表示されます。



3 ▲ボタン・▼ボタンを押してプリント枚数を指定し、ENTERボタンを押す



プリント枚数が設定され、6画面表示に戻ります。手順 ***2***・***3*** を繰り返すと、続けてプリント枚数を設定できます。

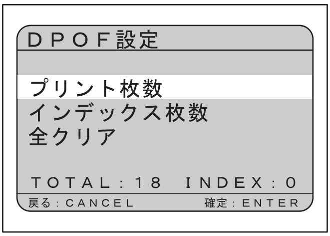


4 CANCELボタンを押す

DPOF設定メニューに戻ります。

5 CANCELボタンを押す

再生メニューに戻ります。



補足

・設定を取り消すときは、プリント枚数を0にします。

重要

・手順5のDPOF設定メニューでモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずCANCELボタンを押して再生メニューまで戻してください。

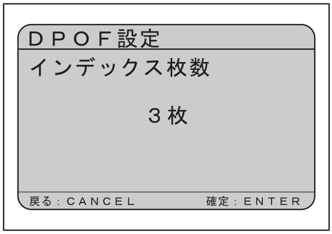
■インデックス枚数を設定する

RICOH フォルダー内のすべてのファイルを縮小してプリントできます。インデックスプリントといい、フォルダー内のファイルを一覧で確認したり、プリント枚数を指定するときの目次として利用できます。

1 DPOF 設定メニューで［インデックス枚数］を選び、ENTER ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押してインデックス枚数を指定し、ENTER ボタンを押す

DPOF 設定メニューに戻ります。

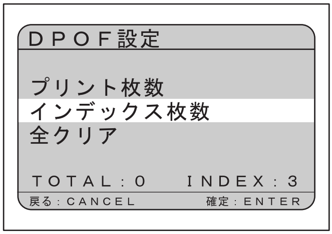


補足

・設定を取り消すときは、インデックス枚数を０にします。

3 CANCEL ボタンを押す

再生メニューに戻ります。



重要

・手順 3 の DPOF 設定メニューでモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ず CANCEL ボタンを押して再生メニューまで戻してください。

■ DPOF 設定を解除する

プリント枚数やインデックス枚数など、DPOF 設定をすべて取り消します。

1 DPOF 設定メニューで［全クリア］を選び、ENTER ボタンを押す

2 シャッターボタンを押す

すべての設定内容がクリアされ、再生メニューに戻ります。

